

2015.11.19
ことばもちよりカフェー
資料

晩秋の
宮沢賢治記念館を訪ねて
思ったこと。。。

あかほり みよじ

2011.3.11
東日本大震災を契機に
私と
岩手との
ご縁がはじまりました。

震災復興支援にはじまり
岩手の農産物ブランド『純情いわて』
の安全・安心を高めるお手伝いをさせて頂いています。

岩手県各地を訪問するなかで
生産者はじめ数多くの人々や自然・文化との
出会いがありました。

そして、岩手の土地柄が育んだ
『宮沢賢治』の
フィールドに接する機会にも恵まれました。

2015.11.11

晩秋の宮沢賢治記念館を訪ねました。

北上川 が眼下に広がる
小高い丘の上の記念館にわが身を置き、
ひとり、時間のたつのを忘れ、
賢治の世界に接することができました。

「ことばもちよりカフェ」を
この場所で開催できたら、どんなに素敵だろう。。。
と思いました。

11月定例会時に

記念館周辺の情景の映像を背景に

病床の賢治の作
『雨ニモマケズ』

シェアーできたら、どんなに幸せだろう。。。

宮沢賢治の世界

農

宇宙

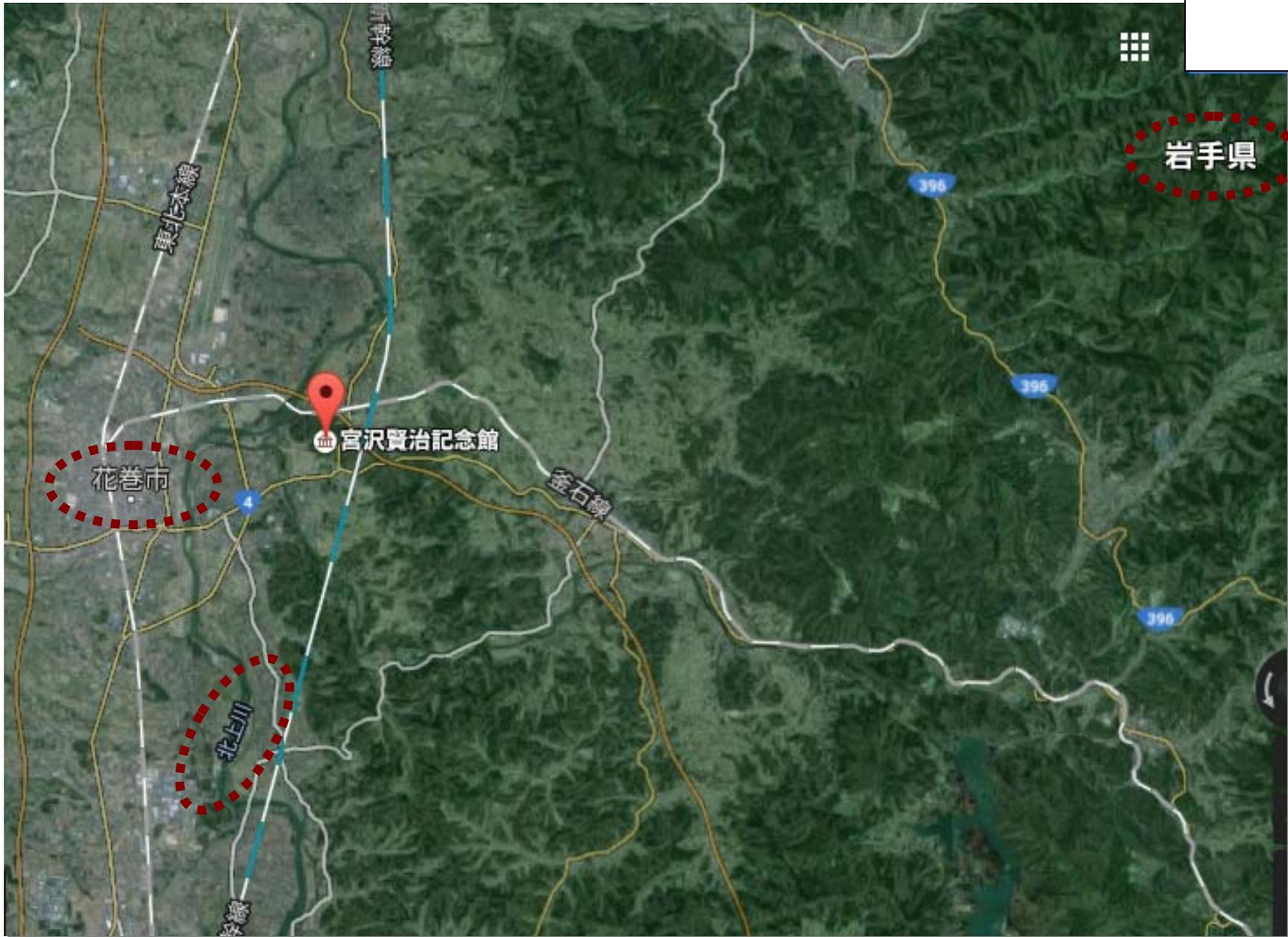
科学

宗教

芸術



時代・地域・家族・知人 人間賢治を紹介



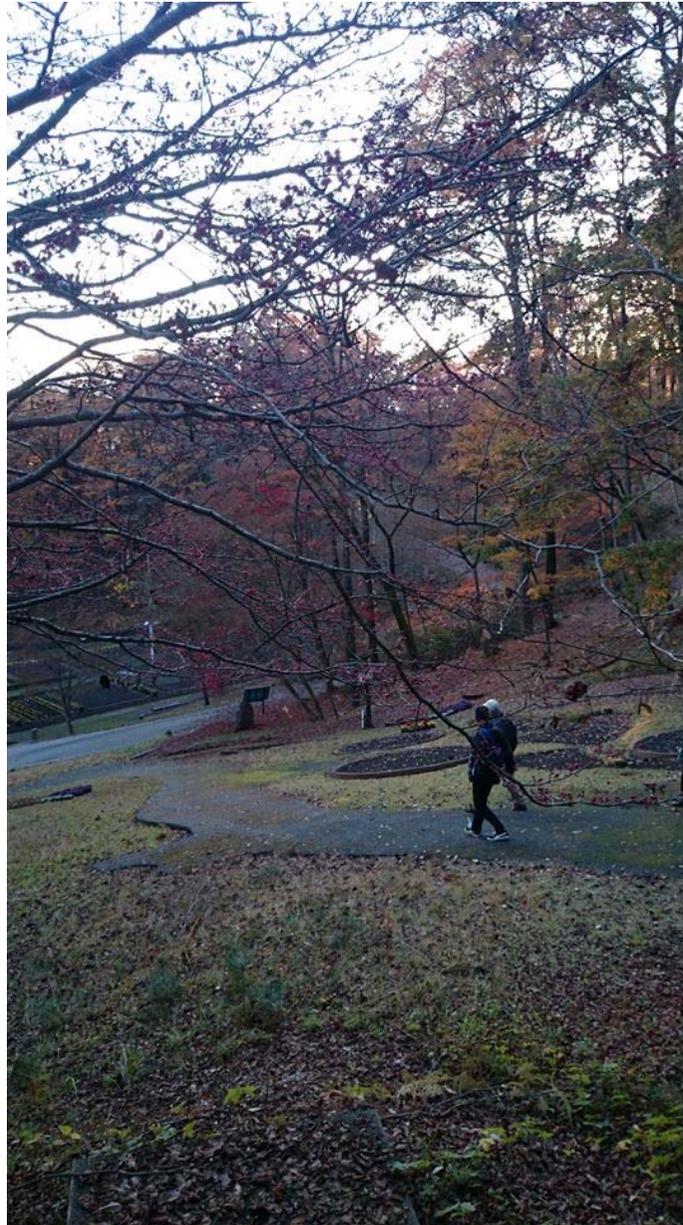
Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



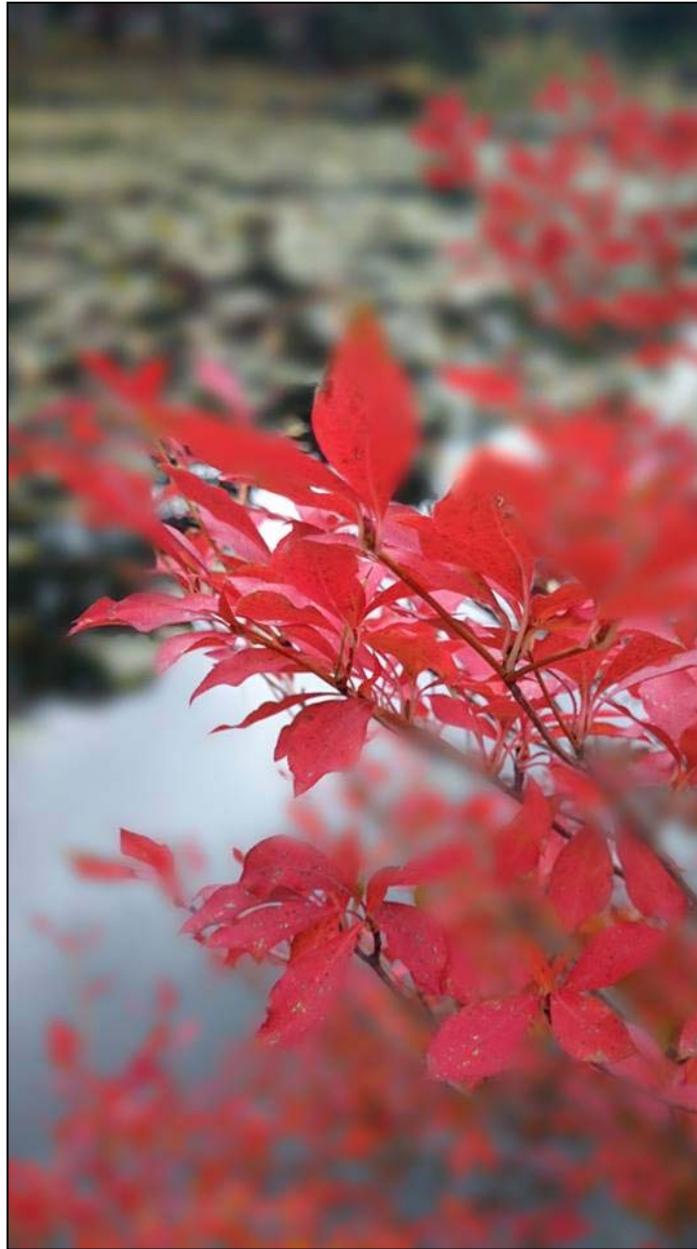
Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori



Mlyoji Akahori

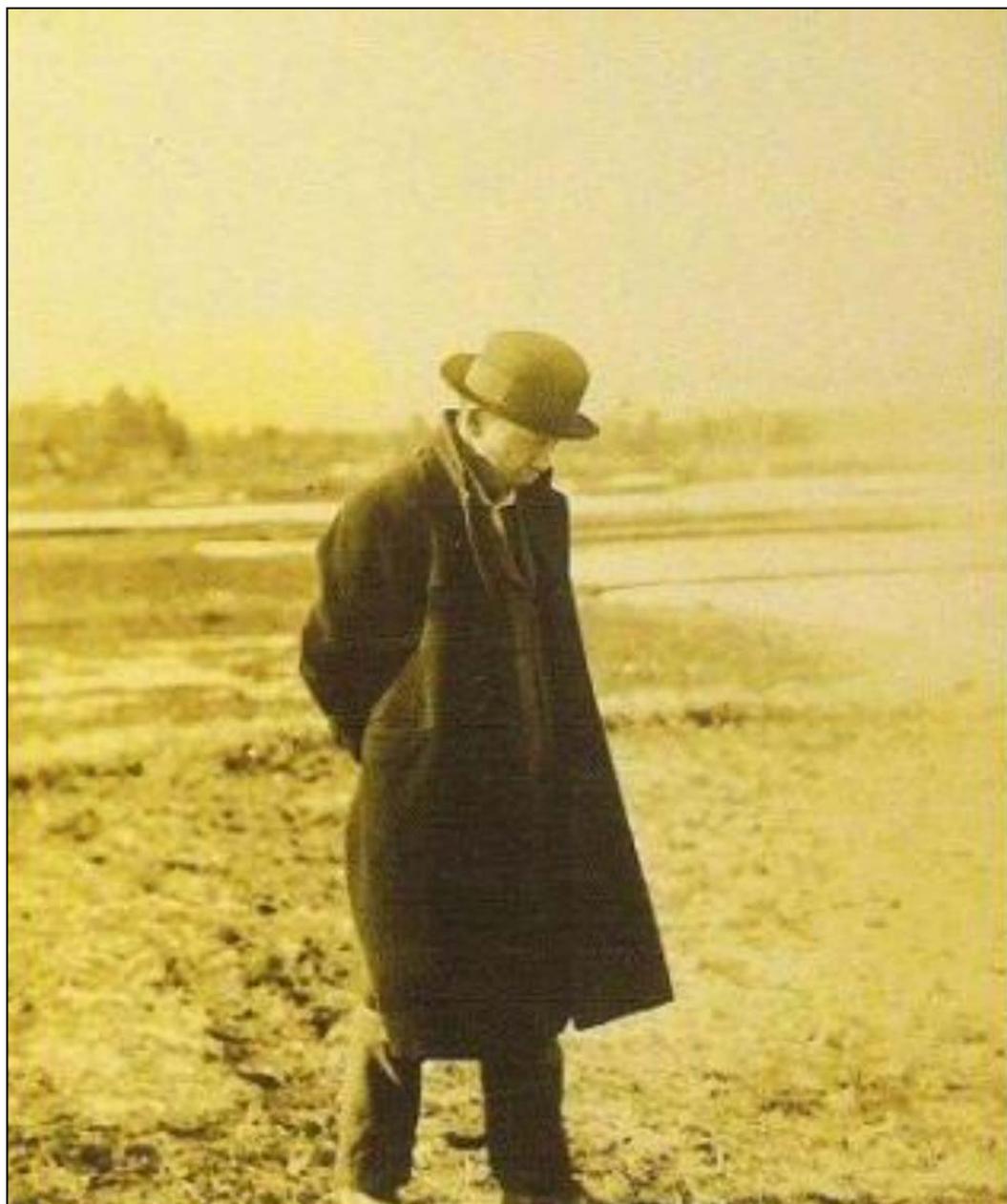
11. 3
 雨ニモ マケズ
 風ニモ マケズ
 雪ニモ 夏ノ日者サ
 モ マケヌ
 丈夫ナカラダラ
 モケ
 飲ムハナク
 決ミテ 腹大ラス
 イツモ シツカニワラツ
 一日ニ 玄米 四合ト
 味 味ト 少シ
 野サ 菜ヲ

『雨ニモマケズ』

雨にも負けず
風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ
丈夫なからだをもち
慾はなく
決して怒らず
いつも静かに笑っている
一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜を食べ
あらゆることを
自分を勘定に入れずに
よく見聞きし分かり
そして忘れず
野原の松の林の陰の
小さな萱ぶきの小屋にいて

宮沢 賢治

東に病気の子供あれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行ってその稲の束を負い
南に死にそうな人あれば
行ってこわがらなくてもいいといい
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめろといい
日照りの時は涙を流し
寒さの夏はおろおろ歩き
みんなにでくのぼーと呼ばれ
褒められもせず
苦にもされず
そういうものに
わたしはなりたい



Mlyoji Akahori